# 平525年等部份。

	コミ担代表	コミ担副代表	
	やじま ともかず 矢嶋 智和 (CS 委員・おやじの会)	えばた ようこ 江畑 洋子 (ISS・"ホッと" すペーす)	おぐち よりこ 小口 和子 (ISS・"ホッと" すペーす)
1 学年			
2 学年	うえまつ てるみ 植松 照美	こむかい ゆうこ 小向 祐子	いしぐろ やすし 石黒 康
	(CS委員・地域コーディネーター)	(CS 委員・図書サポーター)	U (ISS)
3 学年	すずき まさや 鈴木 雅也	くまの たかのぶ 熊野 隆喜	なかの やすこ 中野 保子
	(CS委員・青少年委員)	(CS委員長職務代理)	(地域コーディネーター)
i 組	ふるや みつひろ 古谷充廣	学級サポーター(愛称:コミ担) 学校公開や運動会・合唱コンクールなどの学校行事を中心に、わたしたち"学級サポーター(愛称:コミ担)"が、学校におじゃましています。 この取り組みは全国的にもユニークです。コミュニティ・スクール(CS)委員や学校支援本部"O"の委員が、子どもたちの応援団として学校をサポートしています。今年度も、どうぞよろしくお願いします。	
	(CS委員・ISS委員長)		

## 



石笛 悦美 三谷小 CS 委員 同窓会副会長



磯 綾子 資格取得サポー ター



けとう きょえ 伊藤 清江 いぐさ会 桃四小CS委員



NDさき はっね 岩崎 初音 資格取得サポー ター



牛田 薫 地域運営型部活



うしだ しんいち 牛田 伸一 CS委員 大学准教授



カガカ あやこ 上井草青少年育



大平 久光 おやじの会会計



大森 恵美子 図書サポーター



おみの まさはる 同窓会会長



加藤 真理子 いぐさ会



かとり 変きな 主任児童委員



くどう いちろう 工藤 一朗 CS 委員・学校



こうもと ょうこ 甲元 葉子 三谷小CS委員



坂野 慎二 CS委員長



さとう やすひろ 佐藤 靖広 おやじの会



情野 恭子 青少年委員



ずずき鈴木 主任児童委員



たかの しんいち PTA 会長



つじた ひろかず **辻田 浩和** 支援本部会長



でるや ひでき 照屋 英樹



まつや さなえ 松谷 早苗



やぎさわ ひさお 八木澤 久雄 地域運営型部活





#### 「お花見給食」いとをかし



#### CS委員 鈴木雅也

入学式の翌日、4月10日(水)、恒例の「お花見給食」が開催され、地域交流の一環としてご招待を受けました。ご存知の方も多いと思いますが、今年は春の嵐も吹き荒れ、桜も葉桜となり、「お花見」と呼ぶにはほど遠いものでした。そもそも、ここ数年、雨に降られたり、改築で桜が見当たらなかったり、まともに「お花見」になったためしはありません。また、新学年になって初めての給食であり、新入生にとっては中学生活で始めての給食となります。生徒も私もハラハラドキドキ、何がどうしてどうなって。

一方、先生方の新体制はというと、コンビネーションもまだまだぎこちなく、人事異動で井草中初任の先生方もあたふたあたふた……。みんなが不安で、探り探りの状況に、お花の一つも無い「お・花見給食」。しかし、私には見えました。これから必ず咲くであろう、いろんな花のたくさんの蕾が。この瞬間からすでに、音を立ててポンポンと個性豊かに咲いていく花もありました。深い意味での「お花見給食」。これからも恒例であっていただきたい井草中名物の一つでありました。





#### **〈リレーエッセイ〉**

#### CS委員 ISS実行委員長 古谷 充廣

皆様今日は、私はこの井草の地域で生まれ育った地元の人間です。私が子どもの頃はこのへんに多くの田んぼ(水田)や雑木林がたくさん有りました。切り通し公園の所より水が滝のようにおちていて、井草川となり田んぼにつかわれていました。現在の杉並工業高校のあたりは田んぼでした。井草中の南側の下を川が流れていました。現在は井草川は暗渠になり遊歩道となっています。

私、妻、長女、次女、長男と家族全員が井草中の卒業生です。

### 井草中CS(コミュニティ・スクール)便り第15号

2013年5月25日発行 CS広報部会

#### 区内最大の公立中学校

井草中学校校長 池田 武男



平成 25 年度が始まりました。去る 4 月 9 日の入学式には、171 名の新入生が井草中の仲間入りをしました。そして、2 年生の 183 名と 3 年生の 147 名を合わせると、計 501 名(うち i 組 23 名)を数え、区内で最大の公立中学校となりました。教員も昨年度から 2 学級増となり 2 名、英語と数学の少人数授業に伴う 2 名、栄養教諭配置に伴う 1 名を加えると、計 5 名の増員となり、総勢 28 名(管理職を除く専任教員)となりました。この規模の大きさは、一時期、井草中が学年 2 学級という状況もあったと聞いておりますので、隔世の感があります。当時、危機的状況を乗り切るのに地域の力をお借りして、そして、現在の地域運営型学校へと推移してきた今までの努力がみごとに成就したと言えます。

井草中は、今年度開校 65 周年を迎えます。そして、昨年度末に最終工事となった校庭改修も完了しすべての校舎改築が完成しました。そこで、5月25日(土)には、今回のみ運動会を「校庭完成記念運動会」と称して実施し、また翌週の6月1日(土)には、地域の皆様や同窓会が中心となって企画運営する「井草中学校校舎落成記念祝賀会」を行います。この大勢の生徒と多くのお客様と共に盛大にお祝いいたします。誠にめでたい1週間となる模様です。

今年度は、井草中の今までの歴史を振り返り、そして新たな歴史のページをめくる年になります。そのような画期的な年に、井草中が現在では珍しい規模と言える 500 名を超す中学校となったことは、元気と活気ある学校が実現できるので喜ばしい限りです。しかしながら、個々の生徒が集団の中に埋没しないよう、生徒一人一人を大切にしてそれぞれの力を伸ばせるように留意しなければなりません。そして、その一人一人の力を結集させて 500 超の大きな力としてまとめ上げたとき、その大きな力が一人一人の生徒に還元し新たな個の力となって身に付く、という「大規模校ならではの学校力=魅力」を発揮することができると信じます。そのためには、まず教員が何よりも先に動かなければならないと自覚はしております。しかし、本校はせっかくの地域運営学校です。学校運営協議会や学校支援本部の皆様をはじめ地域関係者の皆様、そして保護者の皆様と一緒になって、この重大なテーマに取り組んでいきたいと思います。どうぞ皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。